

婦女子どもで、おすなせるなの有様だ。

之等灰白の骨行を見て何の喜樂ぞ。

然し俺も身につける衣裳を購はふと思つた。

可愛い賣子が居る傍へ寄つて、

「此の着物は幾錢だ、仕立てゝあるだらう」と俺は言つた。

英ネルの正札が着いてゐる。九圓八拾錢だ。

其處で俺は裸になつて、其の英ネルに袖を通した。短くて長い女の着物だ。ガラが道理でハデであつた。

色キチガヒにはもつてこいだと俺は思つた。

賣子も、お客さんも男の店員も、オツ玉げて見てゐた。

階下へ降りた。

歩るき出した。

二三人の野郎が追いて來てゐるらしい。